

## 認知症キャラバン・メイト養成研修のご案内

「認知症サポーター100万人キャラバン」は、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、2005年に厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる10カ年キャンペーン」の一環として日本で始まりました。その結果、日本には既に1000万人以上の認知症サポーターが誕生しています。海外に住む邦人が認知症になれば、慣れ親しんだ文化を配慮し、かつ母語によるケアが必要となります。DeJaK友の会ではこのため2014年、ヨーロッパ初のキャラバン・メイト養成研修を開催し、ドイツを中心にメイトを50名誕生させました。「キャラバン・メイト」というのは、「認知症サポーター養成講座」を開いて、認知症についての正しい知識を広める講師役を務める方で、所定の研修を受講した後に得られる資格です。

この度、2019年度ENJAハイデルベルク大会に合わせ、日本の全国キャラバン・メイト連絡協議会が日本から講師を再度派遣して下さることになりましたので、ご案内申し上げます。受講対象者は、邦人組織の役員・高齢者問題担当者、NPOや邦人グループのリーダー及びその代理の方、継承語教育学校関係者などですが、基本的には認知症に関心を持ち真剣に取り組む姿勢がある方、受講後、サポーター養成講座を開く意思のある方すべてが参加可能です。所要時間1時間半(目安)のサポーター養成講座はご自分の会の会員の方々、補習校の生徒さん(小学生や中学生向けの教材もあります)、あるいはお友達などを対象に、3名から実施可能です。DeJaKがドイツのキャラバン・メイト窓口となっていますので、ドイツ在住の方は受講後、当会を通じて、登録・認知症サポーター養成講座の実施・再研修をしていただくこととなります。また、養成講座で使用する所定の教材の一括購入の費用は当会で負担させていただきます。

海外に居住しながら日本と全く同じ資格を取得でき、母語を生かして、在独邦人の認知症に取り組んでいくための知識を得る、またとない機会です。講座開催の最低参加者人数は30名となっています。実現するよう、多くの方々のご参加をお待ちしています。

### 記

日時： 6月2日(日)9～16時

場所： [Midori -the green guesthouse](#) (ENJA 大会会場)  
Friedrich-Ebert-Straße 4, 69221 Dossenheim / Heidelberg (GERMANY)  
※宿泊設備・会議室が備わっている施設です。

受講料： 10ユーロ

申込先： [erwig@dejak-tomonokai.de](mailto:erwig@dejak-tomonokai.de) (エアヴィック妙子)

申込期日： 2019年2月末日